



女性部冬期講座が開講

女性部の人気恒例行事『冬期講座』が、12月3日の藤里支部を皮きりに開講しました。12月から3月まで料理講習会やフラワーアレンジメント、講演会など多種多様な講座が行われ、女性部員同士の交流が図られます。

藤里支部の冬期講座には、部員約40人が参加し料理講習会を開きました。藤原支部長と桂田副支部長が講師となり「ごまもち」と「ごまかまぶく」に挑戦しました。各班に分かれて作業が行われ、調理室はごまのいい香りに包まれました。完成した2品は、昼食交流会において参加者全員でいただきました。

また、12月7日に開かれた二ツ井支部の冬期講座には部員約110名が参加。午前中は(株)ジェイエイ山本葬祭センターの近藤常務より講話をいただき、最近の葬儀事情や葬儀にかかる費用などについて学びました。午後からは、日本レクリエーション協会公認指導者の小栗将子さんと軽運動とレクリエーションを楽しみました。童謡や演歌を歌いながら体操をしたり、脳トレをしたりと楽しく健康について学びました。



←ごまかまぶく作りの様子



←笑いが絶えなかったレクリエーション

各地区でミニデイを開催

→種梅地区の様子



→母体地区の様子



J Aの助け合い組織では、地域貢献活動の一環として各地区でミニデイを開いています。11月20日には種梅地区、12月4日には母体地区で行い多くの地域住民の方が参加してくれました。どちらの地区も助け合い組織会長の藤田ミヤ子さんが講師を務めてくださいました。

種梅地区では地域住民約30人が参加し、タオルを使ったストレッチやボールを使ったレクリエーションなどを行いました。特に盛り上がったのが、ビニール袋をうちわであおぎ、向かい合っている相手チームに落とすレクリエーションでした。参加者からは「いけっ！、いけっ！」と声があがるほどでした。

また、初めての開催となる母体地区では、地域住民約40人が参加してミニデイを楽しみました。藤田会長は「年を重ねても寝たきりにならないよう、頭と体を使って楽しみながら100歳を目指してほしい」とあいさつ。その後、ミニデイが始まり参加者らは、歌に合わせた運動やストレッチなどをして身体を動かしました。